



第9号

2001年9月

発行人・平田耕司

編集人・合田良三

今年度総会

十月六日(土)開催

多数の参加をお待ちします。

平成十三年度 東京格致会総会並びに懇親会を左記により開催いたします。激変する新世紀最初の年でもあり、同窓相集って、親しく、楽しくまた賑やかに語り合おうではありませんか。懇親会ではビンゴゲーム等賞品、お土産も用意いたしております。

一、日時 平成十三年十月六日(土) 午後一時から四時

二、場所 山水楼 (受付正午から) 千代田区丸の内三一一一 国際ビル2F

三、内容 TEL 〇三三三二二一三四〇一 懇親会 午後一時から 総会 午後一時から

四、会費 男性 八〇〇〇円 女性 五〇〇〇円

五、別途年会費は二〇〇〇円 当日受付でも承って居ります。

東京格致会ミレニアム総会 (平成12年度)



●出席者名簿
昨年度の総会はミレニアム総会として同窓の庄原市長の特別参加もあり、また、母校から校長・同窓会長も出席され総員八十二名という多数の参加を得て山水

八谷 泰央	庄原市長	八谷 泰央	昭32年卒
福永 恭司	庄原格致高校校長	福永 恭司	昭32年卒
伊達 正治	庄原格致高校同窓会長	伊達 正治	昭32年卒
山下 藤吉	庄原格致高校同窓副会長	山下 藤吉	昭32年卒
藤井 経雄	近畿庄原格致会会長	藤井 経雄	昭32年卒
清水 虎夫	庄原実業高校同窓会東京支部長	清水 虎夫	昭32年卒
政重 悦生	庄原実業高校同窓会東京副支部長	政重 悦生	昭32年卒
滑 年雄	庄原実業高校同窓会東京支部顧問	滑 年雄	昭32年卒
泰 典三	世羅高校東京校友会会長	泰 典三	昭32年卒
田部 幸雄	飛谷 安宣	田部 幸雄	昭32年卒
長井 一美	中田 唯之	長井 一美	昭32年卒
小田 範男	生田 八洲敏	小田 範男	昭32年卒
平田 耕司	合田 良三	平田 耕司	昭32年卒
八谷 義登	森沢 進	八谷 義登	昭33年卒
渡辺 武臣	加藤 敬弘	渡辺 武臣	昭33年卒
渡辺 武典	熊原 正宏	渡辺 武典	昭33年卒
小島 芳元	黒田 裕	小島 芳元	昭33年卒
山田 健太郎	坂口 富士子	山田 健太郎	昭33年卒
坂井 昌彦	迫田 芳徳	坂井 昌彦	昭33年卒
森戸 昭夫	高尾 充寛	森戸 昭夫	昭33年卒
秋山 雄三	近保 幸	秋山 雄三	昭33年卒
大隈 邦親	藤原チエミ	大隈 邦親	昭33年卒
金森 裕雄	深水 恵子	金森 裕雄	昭33年卒
酒井 久幸	陸田 康行	酒井 久幸	昭33年卒
佐近 萬之	遠藤 靖夫	佐近 萬之	昭33年卒
室伏 孝一	黒田 正信	室伏 孝一	昭33年卒
岡田 昌人	中田 毅	岡田 昌人	昭33年卒
佐竹 幸二	山城 建治	佐竹 幸二	昭33年卒
三浦 重造	山本 昭夫	三浦 重造	昭33年卒
保田 治郎	磨 正純	保田 治郎	昭33年卒
小山眞次郎	久宗 昭憲	小山眞次郎	昭33年卒
佐近 修身	和泉由紀夫	佐近 修身	昭33年卒
長谷部 武	井上 由夫	長谷部 武	昭33年卒
風呂田哲生	迫田 秀明	風呂田哲生	昭33年卒
水田 積江	戸丸 久恵	水田 積江	昭33年卒
友広 積寿	宮角 孝雄	友広 積寿	昭33年卒
松長 昭子	吉光 昭雄	松長 昭子	昭33年卒
守長 俊之	佐々木和之	守長 俊之	昭33年卒
近藤 正昭	田邊 敏憲	近藤 正昭	昭33年卒
明賀 馨	茶園 美香	明賀 馨	昭33年卒
信清 治博	藤原 剛	信清 治博	昭33年卒
渡利 哲治	吉田 玲児	渡利 哲治	昭33年卒
加藤 文雄	白根 晴輝	加藤 文雄	昭33年卒

楼で盛大に行われました(写真)。
当日はミレニアム記念特別事業として(柳富士通総研主席研究員田邊敏憲氏(同窓)に講演を依頼しました(概要は別掲)

東京格致会会員の特典

庄原グランドホテルが割安利用

庄原グランドホテルをご利用の方は会員証をフロントに呈示することにより、宿泊料が一割引になります。その際、同伴者も特典を受けることができます。

また、庄原カントリークラブも会員はメンバー並の料金でプレーが楽しめます。

詳しくは事務局へお尋ね下さい。今後、特典を受けられるホテル、レストラン・物販店等との契約に努力する予定です。

会員証の発行方法

年会費納入者に対し会計年度毎、発行します。

総会開催時又は本人の申し込み(事務局へ)によりります。

◎庄原グランドホテル

庄原市西本町二一六一五
電話 〇八二四七二一六七八九

東京格致会の講演要旨



昭和四十三年卒
田邊 敏憲
(富士通総研主席研究員)

昨年十月七日に開催された東京格致会において、「二十一世紀の成長企業」との講演をさせていただいた。当日は、高校時代の恩師で格致高校校長を歴任された伊達先生をはじめ、福永校長、八谷庄原市長などの方々にも駆けつけていただき、日頃の講演以上に力が入った。

二十一世紀はIT革命やエネルギー革命により、これまでの社会や経済の仕組みがらりと変わる。IT化により、医療や教育のあり方も激変する。既に米国の教育現場では、インターネットを活用して個々の子供毎の宿題が出され、対応できない先生はクビになる時代だ。また燃料電池、これはバッテリーではなく、発電機だが、これが普及すると、各家庭ではコストアップとなる電線を通して電気を買うより、天然ガス等から直接に発電する方が安い。電力会社よりガス会社が有利になる。電力会社といった大企業でさえ将来的には盤石とはいえず、大体、地銀・電力会社・県庁といった御三家が地方では安定し、子供が就職した場合は親が喜ぶと決まっていたが、今後は、どの産業が安定し、おいしいということはない。これまで医者や弁護士や大企業勤務は一生安定して、おいしい仕事とみられた。しかし今後は、おいしい仕事と

いうのはなくなり、どの産業・仕事でも、うまくやって成功する人と、そうでない人がでてくる。

そうなる、人間は本当にやりたいことをやるのが幸せという発想になる。従って、現在のような受験競争にも転機がある。こうした人々の心境の変化を学校の先生方も理解して、本当にやりたいこと探しの教育が求められるだろう。

また、田舎の学校と都会の学校の有利不利ということもなくなる。インターネット教育が普及すると、視覚と聴覚に訴える知育は全国あるいは海外どこにいても最先端の授業を受けられる。むしろ田舎の学校で、より自然の営みに接した経験こそが生きた教育ということになる。格致高校も、インターネットを活用した教育で全国のトップを走る学校となれる。やり方次第で面白い時代を迎えよう。

東京格致会の

発展を期待して



会長
平田 耕司

昨年私たちは二十世紀最後の年としての総会を盛大に開催することができました。出席者も今までになく八十二名となり、なかでも庄原市長、八谷泰央氏(昭和二十五年卒)の公務ご多端な中ご参加をいただき、最近の市の情勢や市政等を詳しく伺えたことは久しく故郷を離れて

いる私達にとって有難いことでした。又福永校長先生の母校の発展ぶりや伊達同窓会長のお話も同窓の者として大変勇気づけられました。そして初めての試みでしたが、内外で広く活躍の同窓の方のご講演をということで、富士通総研 主席研究員である田邊敏憲氏(昭和四十三年卒)の「二十一世紀の成長企業」と題しITの発展をベースにしたこれからの我が国産業界や社会についてのご講演は一同感銘を受けました。

私達は幹事会等で首都圏在住同窓のために何が役立ち、或はメリットになるだろうかとか話してはいますが、このように同窓の中には国の内外で広く活躍されている方もあり、それらの方から時勢に即応した話を身近に聞くことが出来れば誠に有難いことです。

今後もしそうした講演会を開催したいと考えています。

過日の幹事会で今年の会報発行や総会開催についての打ち合わせをしました。その際或幹事から、年会費を頂いているということもあり会員メリットという点から例えば、会員証を示せばホテルやレストラン或は取扱商品の割引が得られるというシステムが考えられないだろうかという発言があり、そこで早速他の幹事が庄原グランドホテルへ交渉したところ心よく諒解を得、前記のような特典を受けられることが出来ることとなり今夏帰省予定であった会員にとり朗報となりました。このことは更に会報に広告をお願いしている方がたにもご協力をお願いしているところと、会には同窓同郷の親しみを更に深め

母校現況



庄原格致高等学校長
金岡 俊信

るため「ゴルフ同好会」「囲碁同好会」などがあり活発な活動がおこなわれています。東京格致会の存在が有意義であり又楽しいといわれるようこれからも努力する所存です。各位におかれましては今後共々健勝で活躍されんことを祈り、あわせて会の発展に強力なご支援を賜わりますようお願いする次第です。
(昭和二十年卒)

緑なす山並みが、いよいよその色を濃くし、燃え上がる雲と競い合う躍動の夏、備北高原の北端に存する母校庄原格致高校の一室で、この原稿を書いております。皆様にお読みいただく頃には、おそらくこの高原は澄みきった蒼天の下、夏に燃え出でた緑もその勢いを抑え空の色もおだやかな風情を漂わせていることと想われます。

皆様には日頃から本校へのご支援・ご支持いただき心より厚くお礼申し上げます。郷里を離れられても、母校への思いを深く持たれ、毎年定例会を持たれることは、その母校愛の強さに心打たれますと同時に、この学校を預かる者として、身の引きしまる思いであります。

本校は、ご案内のように、昨年より「学力向上対策重点校」の一つに選ばれ、

そうした取り組みを引き続いて行っております。研究授業発表会や先進校への視察、社会人講師を招いての進路講演会(多くの同窓生に講師となっていたいただきました)、格致検定の実施など幅広い取り組みを行ってまいりました。現在のところまだその成果が如実に出ていないわけではありませんが、学力向上が本校の課題であると言う認識は定着しております。今も、この盛夏の中、教師も生徒も補習に取り組んでおります。また、グラウンドからは、野球部やテニス部、陸上部の練習する声が聞こえてまいります。おそらく、第2グラウンドではラグビーやサッカーの選手たちが炎天下走り込みをしているでしょう。

「体力・気力・学力」とは一体のものであると言われますが、本校の場合も学力を狭く捉えることはありません。学力は教科学力(勉学)と生活学力(生活力)から成り立ちますし、それはまたその人間の気力や体力(性格・生き方・身体の方、律し方)とも深く関っております。生徒会活動・クラブ活動の充実と勉学との両立を理想とするところであります。

先日、クラブの大会出場壮行式を行いました。女子槍投げ、ソフトテニス、水泳男子一〇〇mが中国大会へ、また、なぎなた部と写真部が全国大会へと出場します。勉学の方でも、英語検定に挑戦する生徒もおりますし、クラブが終わった三年生はまた新たな進路実現のための大会(入試等)に向かって行っております。勉学の方も、国公立や私大難関校に挑戦する者もかなりおりますが、さらに中国大会や全

国大会レベルへと高めていかなければなりません。学力向上対策重点校の中での本校の達成度は高くありません。潜在能力があり、人間的な魅力のある生徒だけに、さらなる挑戦と飛躍を期待するところです。諸先輩方にはこれからも、暖かくまた厳しく後輩たちの行く末を導き、見守って頂きますようお願いいたします。

広島県立庄原格致高等学校
ホームページ
<http://www4.onn.ne.jp/~kakuchi/>

二 挨拶



同窓会長
伊達 正治

会員の皆様にはその後お変わりなく益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

新世紀元年を迎えた我が国は、深刻な人口減少問題や環境問題に直面し、政治・経済・教育など各界において、今こそ二十世紀的成長の発想転換が迫られ、これが「改革」という名の風になって吹き荒れています。

それはさておき、私ども格致同窓会は創立以来百年に余る歴史と伝統を有する母校を「誇り」として、会員が強い心のつながりをもって同窓会に結集し活動が展開されていることは誠に同慶の至りに存じます。

中でも東京格致会が格致同窓会全体の

大きな発進力の一翼をになっていただいていることに対し、衷心より敬意と感謝を表します。

所用で各方面へ出かけ多くの方々とお会いするとき「格致」「庄原」「比婆西」と聞くだけで十数年来の知己友人のような温もりを感じるのも同窓生ならではのありがたい絆だと思えます。学んだ時代や世代によって母校や同窓会に寄せる会員の皆様の思いや郷愁も様々だと察しますが、かけがえのない人生の一瞬である「青春」をばぐくんでくれた母校を通しての会員相互の心のつながりは人情の赴くところであり永遠に不変だと思えます。

ご承知のように広島県教育が著しく学習指導要領を逸脱しているとして国会で論議され全国的に報道され、平成十年四月文部省が現地実態調査をし、その年の五月から三年間にわたって文部省の是正指導を受けることになりました。その結果、県教育の根幹となっていた昭和六十年九月のいわゆる八者合意事項、即ち県知事、県議会議員、教育長、部落開放同盟広島県連、広教組、広同教、高教組、高同教の八者により「教育の基底は同和教育である」という趣旨の合意事項は「誤り」であると平成十二年六月この合意事項を県教委は全面的に破棄したのであります。そして校長権限の確立や入学・卒業式での国旗・国歌や主任の実動などについて強力な指導がなされて、今日漸く現場の混乱も沈静化に向っている状況です。

母校「格致」も決して例外ではなく苦難の道を進んできましたが、幸い本年度も亦、県北では唯一「学力向上重点対策

洋光繊維株式会社

代表取締役
木村 貞 寧
(昭和25年卒)

〒130-0004 東京都墨田区本所4-9-10
電話 (03) 3623-3176

長井運送株式会社

代表取締役
長 井 一 美
(昭和15年卒)

〒105-0023 東京都港区芝浦1-3-3
電話 (03) 3451-2293

高」に指定され、大きな期待が寄せられて
います。
又、本年度から広島県においても風通
しのよい開かれた学校づくりの一環とし
て学校評議員会が設置され、同窓会もそ
の構成に関与しています。会員の代弁者
として格致会教育の発展に微力を尽くす
機会が与えられ、今更ながら私自身、母
校との縁の深さをしみじみと感じその責
任を重く受けとめているこの頃です。

東京格致会のご発展と会員皆様のご健
勝を祈念してご挨拶といたします。
(昭和十八年卒)

会員だより

庄原高校

三十五期卒業生の仲間達



昭和三十五年卒
八谷 英樹

昨春秋、突然、前田えみ子さん(旧姓・
横山)から電話が入り、十一月に網代集
合の命がくだった。恩師の有馬先生を囲
んでのクラス会を行うとのこと。大阪・奈
良からの参加者も含め総勢十四名が集い、
懐かしく楽しい一泊旅行となった。

今回はその時の参加者に限らず東京格

致会に参加経験のある同期生を、紙面が
許す限り紹介をさせていただく(以下、敬
称は省略)。

前掲の前田(庄原中学出身)は、現代
アートの分野で創作活動に励んでおり、庄
原市体育館ロビーの壁画を手がけ、海外
での個展のほか、毎年、銀座の画廊でも
個展を開いている。今年の十月には、郷
里の国営備北丘陵公園内・さとやま展示
館での個展が予定されている。次に吉岡
公義(庄原中学)、卒業以来(株)紀伊国屋
書店で頑張り、昨年から専務として会社
の舵取りに腐心しており、厳しい業界の中
で苦勞している。口南中学出身の積山弘
佳は銀座六丁目にある宝石専門店ミワの
親会社である(株)みつわで二年先輩の合田
さん(氏の奥さんは我等と同期の旧姓田
辺幸江・山内東中学)と一緒に勤務して
おり、取締役営業統括部長として宝石の
原石の買付けから販売と海外にまで足を
延ばして活躍している。光島勝馬(比和
中学)は、横浜市役所勤務であったが港
北区長を最後にこの四月から横浜市リハ
ビリテーション事業団の専務に転出した。
桑原貞之(西城中学)は、永らく勤務し
ていた象印マホービン(株)を特機営業部・
マネジャーを最後に定年で退職の予定。こ
の桑原の象印マホービン(株)と関連あるのが
八谷英樹(比和中学)が現在勤務する(株)
製品安全協会。八谷は大蔵省で予算編成
事務に長年携わったのち、国民生活金融
公庫を経て昨年から監事としてこの協会
に勤務している。この協会は消費生活用
製品の安全性確保と欠陥商品から生じる

人的被害の補償を目的として『SGマー
ク』の貼付を事業としているが、象印(株)は
その製品の多くにSGマークを貼付してお
り通産算大臣表彰を受けた実績もある。

最後に登場するのが本庄元(庄原中学)。
昨年設立五十周年を迎えた切削工具の専
門商社(住友電気工業、イケダロイ製品
の取扱では国内トップの実績)である大阪
工機(株)に勤務し、八年前から東京支社長
として活躍している。

以上がこれまでに東京格致会に出席し
たことのある仲間ですが、網代に集合しこ
こに名前が出なかった面々を列記すると、
豊原隆太郎、同夫人(旧姓長谷川晴子)、
若林公子(旧姓伊藤)、森永英樹、荏川
佳孝、村上雅治、田辺弘成の各氏である。
当日は卒業以来三〇数年振りの顔合わせ
も有り、熱海まで隣同士で座りながらも話
をせず、熱海まで来て集合場所であ、貴
方でしたかと大笑い、多いに話し、食べ、
飲み、カラオケで盛り上がり数名の酒豪は
明け方まで盃を傾けたという。

我々同期はいずれも今年中に満六〇歳
を迎える。青雲の志を抱いて母校を巣立っ
て早くも四〇有余年。今回紹介できなかつ
た多くの同期生も関東地区でさまざまな
分野で活躍をされていると思います。今
年の東京格致会是我ら同期にとっては何
年の年でもあり、多くの仲間の参加を得
て、近況・昔話に花を咲かせたいものと
祈念している。

株式会社 吉農美

相談役 佐近 萬之
(昭和25年卒)

京懐石みのきち 新宿住友店
〒163-0248 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル 48階
電話 (03) 3346-2610

酒井会計事務所

税理士 酒井 久幸
(昭和25年卒)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町
2-13-28
電話 (03) 3255-8995

格致高校

卒業三十五年目に寄せて



昭和四十一年卒
迫田 秀明

一九六六年三月の卒業以来しばらくの間はクラブのOBなどということでは部室を訪問したり合宿に同行したりと結構頻繁に出入りしていた。それでもだんだんと知る人も減って疎遠になりやがては訪れることも無くなってしまった。社会人となって故郷も母校もさらに遠く距離的にも気持ちの上でも離れていった。公私共に次々と新しい仕事や課題と立ち向かい少々大げさではあるがその対決のうちには時は過ぎてしまった。気にもかけていなかった母校のこと、というのは強がりか思い巡らす余裕もなく忘れていたというのが正しい。

一九九六年八月に作成された卒業三〇年学年会名簿の中の行方不明者の一人になっている自分のことを中学以来の親友が教えてくれた。「おおい」という気持ちになってしまった。ここまでの私自身の不義理を反省もしたものだ。しかしそれ以上のこともないままにまた数年がたった。生意気にもこれまで自分の力だけで生きてきたようなおごりと過信を持っていた。ところがこの思い上がりを「違うぞ違うぞ」と教えてくれる人たちが、格致会の先輩方との出会いである。共通のバックボーン

をもつ人たちとの出会いを演出してくれたのは広島県人会の新年会だった。その場で格致同期の和泉さんと三〇数年ぶりに出会い、東京格致会の事務局長の明賀さんにお会いし、その場で同窓会へのお誘いを戴き入会させていただいた。同窓会にはすでに私達の同期の七クラスのうち一クラス分五〇名もの人たちがいて東京で活躍していることを知った。そしてミレニアム

総会、故郷母校への感謝を忘れない先輩方との交流の機会、同期の人との懐かしい再会、そして、そして遠い親戚の人たちとの出会い、幼いころに、教えられたり聞かされたりしても関心もなく、結局断片的にしか覚えてもないようなことが、組みあがったり繋がったり、危なげな自分が、少ししっかりしたベースの上に立てたような、そんな自分発見ができたように思う。

先輩方の格致会を盛り立て、絆と歴史を繋ぎ続ける責任と使命感に敬服している。不義理を決め込んでいた輩を、大きな包容力で受け入れようとされている先輩方、同じ熱意は持てないかも知れないけれど、大げさでなくともいいひとつもお役に立ちたい。何が出来るだろう、何かできると思う。ほんの身近な範囲でいいネットワークを広げる行動を始めようと思う。

機会を見つけられないで迷っている方、せめて五年に一回は何かに参加しよう。人それぞれ感じ方は様々だろうが、私自身三〇数年迷いに迷って母港にたどり着いた船にも似た気がしている。

「遅咲き元氣中年人生
これから」



昭和四十六年卒
西谷 光徳

人生、早今年九月二十六日で、四十九才です。気持ち的に、「もう四十九才」、「また四十九才」とちらであるうか？ 私は両方の気持ちでいっばいだ。と言うのは、今も若い人達に負けない様な事柄にチャレンジをしているからだ。たとえば、四年前から始めたギター演奏、資格への挑戦、パソコン入門、社会奉仕など毎日の時間がなくていつも一日、一ヶ月、一年があっという間に過ぎて行ってしまう感じだ。今が一番充実しているのかもしれない。

振り返ると、十八才で上京、二十六才で会社を創設、現在二十一人の社員を抱えるまでになり本当に幸せな人生のような気がする。

今日のニュースで報道していたが日本の男女の平均寿命が世界一にまたなつたと言っていました。男子が七七・六四才、女子が八四・六二才である。日本経済が最悪だと言っているが世界一の平均寿命であるのは一番裕福ではないのではなからうか。

男女平等の時代ではあるが男は五十才代、六十才代が一番輝いている年代でなければいけないと思う。後輩の目標のためにも言えると思います。

勉強は若さの源である気がします。先月（七月）も朝から夕方五時まで御

《健康と美容のコンサルタント》

合資会社 めぐみ薬局

代表社員 惠 木 弘
(昭和30年卒)

本店 川崎市高津区新作4-11-19
電話 044(888)3000
支店 川崎市宮前区東有馬5-22-6
電話 044(866)2426

どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

ガーデン&エクステリア

0120-454295 お気軽にどうぞ



代表取締役 西谷 光徳 (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市市安町1-32-19 TEL 0426(45)4295 FAX 0426(44)8549

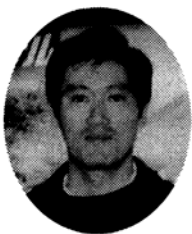
茶の水に試験を受けに行ってきた。これが受かると十七種類目の資格になる。試験会場は、殆ど二十代の人達だった。

又ギター演奏でサザンオールスターズの曲も弾ける様にもなった。そしてパソコンのデジカメ・メール・エクセルなんでもござれだ。私の最後の将来の目標は英語が話せる人になりたいと思っています。

私は遅咲きでも人生楽しい事をいっぱい見つける事が出来ると思います。

我が社では、六十三才と四十三才の男子社員が去年と今年と結婚式を挙げました。現在中年の人達が少し元気がないように見うけられます。チャレンジ精神があれば乗り越えられるのではなからうか。

心に残る思いで



昭和五十一年卒
庄川 哲弘

私が庄原格致高等学校を卒業したのは昭和五十一年。

卒業して丸二十五年が経ったことになり。会社に入社して何年になるかは日頃から指折りかぞえてわかっていたが、高校を卒業して二十五年になるとは本当に月日の経つのは早いものである。

高校時代は、生徒会活動(風紀委員長?)と運動(軟式テニス部に所属)に明け暮れた。当時一緒にテニスをやっていた武田君・迫君・下田君達には久しく会っていないが、松田君とは今でも年賀状のやりとり

をやっており、彼は今静岡で頑張っている。

現代私は名古屋で勤務しており、着任して丸一年になる。大学を卒業して安田火災に入社し、松山四年、本社十二年、鹿児島(奄美大島)三年と勤務し、昨年名古屋に転勤してきたのである。あつという間に二十年経った気がする。仕事以外で思い出に残っているのは、松山で結婚したことと、転勤がなければ行かなかったであろう奄美大島でいい意味の異国情緒に触れることができたことである。松山の女房の実家は道後温泉本館にも歩いて五分の近さであり、温泉旅行気分ですべてできるのは楽しみであり、幸せなことと感謝している。松山でのもう一つの楽しみは女房の父親とのゴルフである。私が帰省する時は必ず日程を調整してセットしてくれる。プレー代は父親が支払ってくれ、私は運転手をするだけであるが、一つの親孝行と割り切って甘んじている。

奄美大島での三年間は、さとうきびで作った「黒糖焼酎」を本当によく飲んだ。島で酒という黒糖焼酎である。スナックでもわざわざウイスキーをリクエストしないとウイスキーは出てこない。島の人は何かにつけてよく焼酎を飲む。飲み方もそれぞれがこだわりがあり、夏でもお湯割りの人、焼酎の量は自分で決めて入れる人など様々である。私の酒の飲み方のパターン(ビールから焼酎の順番)は奄美で完成されたものである。

卒業して二十五年経ったと思うと急に故郷が懐かしくなり、同級生に会ってみたいとなった。今年の夏は四年ぶりに庄原に帰って親孝行しようと思っている。



庄原市の近況について



昭和三十三年卒業
片山 孝昭
(市議会議員)

東京格致会の皆様には、ご健勝で活躍のことと存じます。さて、庄原市の近況ですが、平成五年に設置決定された簡易保険福祉事業団による総合レクリエーションセンターの建設が一昨年四月に着工され、本年四月十八日にオープン致しました。

この施設は、中国地方では初めての簡易保険総合レクリエーションセンターです。大浴場、露天風呂、打たせ湯などの「クア施設」や「研修施設」「レストラン」、建物周辺にはテニスコート、ジョギングコースなどのスポーツ施設を備え、また高齢者や障害のある方にもやさしい施設として整備されています。地上七階建の客室六十二室うち洋室二十室で、宿泊定員は二〇〇名です。オープンして七十日で宿泊一万人を超え予想以上の人気です。また、日帰り客も庄原を中心に遠くは広島市からも多数の来客があり、おかげで地場産品も売上げが着実にのびております。帰郷の節は是非お立ち寄り下さい。次に庄原市の将来について述べてみます。庄原市は昭和二十九年七ヶ町村が合併して誕生しましたが、当時三万四千人

テレビ飯能

代表取締役 **和泉 由起夫**
(昭和41年卒)

飯能ケーブルテレビ株式会社
〒357-0015 埼玉県飯能市小久保19-1
TEL 0429-74-3611 FAX 0429-74-3612
E-mail info@tv-hanno.co.jp

中国広東料理

山水楼

本店 東京都千代田区丸の内3-1-1
国際(帝劇)ビル2~3階 TEL 3212-3401

の人口も年々減少し、特に最近では少子高齢化も加わり現在二万一千人まで減少しました。政府は昨年、現在全国に三千二百四十二ある市町村を合併して、千の自治体に再編する方針を打ち出しました。所謂、平成の大合併であります。広島県も八十七市町村を十七の市町にする方針を決定しました。庄原市も比婆郡五町と総領町を含む一市六町による合併協議会を設置し、首長、議長による協議を重ねております。

いずれにしても、合併特例法が切れる平成十七年度末までには、新市誕生というところで決着するものと思えます。終わりに格致高校の近況ですが、校長先生をはじめ各先生方の熱心な指導のもとに生徒の学力も年々向上しております。広島県北に格致高校ありと胸を張っている日も近いと感じております。

十一月には、同窓会総会も予定しておりますので皆様の参加をよろしくお待ちしております。申し上げます。

同好会だより

ゴルフコンペの回想と今後について

昭和二十五年卒 室伏 孝一

東京格致会のゴルフ同好会は、平成元年（一九八九年）十月二十六日（水戸CCでのコンペを、スタートにして、今年で十三年目・二十四回となりました。ゴルフ



フ愛好の方々の熱意により、時には四名の参加者でも、年二回の開催を続けて参りました。その間に、物故者に成られた田端康夫・五十嵐三郎さんもゴルフ大好きな方でした。また、ゴルフのプレーを楽しみにし、コンペのお世話を下さった方で、現在体調をくずしておられる方、仕事の関係で転勤、多忙の方達、これら多くの方に支えられて今日まで続いている礎を築いて下さった熱き思いに對し、感謝の念がいっぱいでございます。優勝杯を出して下さった細川元会長・長井・平田・谷岡・秋山・沼田・池田・栄（兄弟）・原田・石川・田辺・宮本・助政・右近・横山・新見・小山・高揚・住本・横山等、諸氏の名前が第十回までに参加をして頂いた記録に残っております。源氏山、レインポー、新水戸、芳賀、オリピック、葉山国際、等のコースを会員

の方のお世話でプレーが出来ました。平成六年の秋、十一月五日（土）から、酒井久幸氏のお世話で、一の宮CC（千葉・外房線）をホームコースのように利用させて頂くことになりました。一の宮CCでは、土曜日でありながら割引利用もあり、首都圏からJRホリデーパスの利用を生かして続けております。一の宮CCのメンバーの方が、何時もコンペにゲストとして参加され、ゲストの方が庄原CCまで遠征される迄の懇親を深めております。

東京格致会メンバーの、母校を想う心の一つとして、ゴルフを通してお互いの交流を深めたいと、回を重ねるにつれて、年齢層も若くなりました。一の宮CCのゲストメンバーばかりでなく、最近では、広島県・市の東京事務所の方々や、会員の同伴者も参加され、五組・六組のコンペ開催となりました。一の宮CCのコースメンテナスの良さに加えて、帰りの電車の中一杯のビールを飲みながら懇親はまた有意義なものとなっております。ゴルフは自分自身の健康のパロメーターとして大切に、同じ学舎で学んだ者達の交流の場として多くのゴルフ愛好者の会として広がっていくことを願っております。

新会員大歓迎

第二十五回ゴルフ同好会コンペ

平成十三年十月二十日（土）

一の宮カントリー倶楽部

千葉県JR「上総一の宮駅」下車

幹事 飛谷 安宣

自動車販売会社 株式会社 ヨシダ

代表取締役 吉田 玲児 (昭和47年卒)

〒123-0844 東京足立区興野1-15-10-203
TEL・FAX (03) 3840-0977
携帯 090-4713-0977
E-mail:y.reiji@helen.ocn.ne.jp

西葛西・井上眼科病院

院長 宮永 嘉隆 (昭和28年卒)

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-4-9
TEL03-5605-2100(代)

TEL 〇九〇一四九二七四二六五
 兼利 卓蔵
 TEL 〇四八六二二一三三六六
 参加申し込みは幹事まで。

囲碁同好会が発足、 現在活動中

昭和二十八年卒 近藤 正昭
 昨年十二月十一日、東京格致会で囲碁同好会が発足しました。当会は、「囲碁を愛する」同窓の仲間と、棋力の向上を目指す「つわものども」八名で構成し、都内の某施設で「こじんまり」と「さわやか」に、全員が参加して発会式を終了



しました。当日は、全員が揃う前から対局が始まり、趣味の世界とはいえ最初から真剣勝負です。二十一世紀に向かって夢と希望にあふれた、まさに頭の体操そのものでした。

会員は、二十七年卒三名、二十八年卒二名、三十二年卒と三十三年卒が一名づつ、外部者（同窓の推薦）一名の計八名です。そして、棋力（自称）は五段を最高に有段者五名、級位者三名です。活動の経過は、宿泊施設・碁会所・箱根の保養施設（写真はロビーにて撮影）及び伊豆の保養施設と各所を巡りました。特に箱根は、桜の咲き乱れる静かな渓谷で温泉と囲碁三昧でした。諸費用も格安で囲碁が満喫できた楽しい一泊旅行でした。一年間の総仕上げは、十月に囲碁大会を開催します。開催日は、休日を予定していますので多数の参加を期待します。又、囲碁に興味有る方も参画出来るよう取り計らいます。有段者・級位者も気楽に対局できるシステムを取り入れ、特に若い人の入会・参加を歓迎します。

囲碁は、安価で長続きする娯楽で、趣味の中でも特別な面白さと歴史があります。又、碁敵との永い付き合いから人間関係の形成へと、今後の生活設計（長生き）に必ず役立つものと考えます。併せて、当会の発展を祈るものです。

（新聞記事から）大東文化大学経済学部で、「総合教育の特殊講義に囲碁・将棋を正課に」採用。いまや、「世界に誇る頭脳スポーツ」として広がっている囲碁

と将棋を、女流棋士を招き質問形式の講義と指導を実施している。受講生は三十人程度で学生間では好評であるとか。実践的な体験と同時に文化的・歴史的背景を学ぶのがねらいのよう。近年、学校教育の一環で、沖縄・京都の高校と香川大でも棋士を講師として招き、年に数回の講座が行われている。「囲碁にこだわる」ものとして、静かに拍手を送り見守りたい。以上

【参考】当同好会の規約（要点のみ）

東京格致会囲碁同好会と称し、会員（賛同者及び会員の推薦者）で組織。会員相互の親睦及び棋力の向上・組織の拡大・情報交換が目的。会合は定期的に開催（偶数月の第二木曜日）、場所・日時はその都度通知。会計は実費（その都度清算）、年会費二〇〇〇円。段級位は十月の大会後役員が承認し、随時変更できる。その他規約に定めなき事項はその都度協議。

平成十二年十二月十一日付

基金

東京格致会の活動に賛同する者が会の活動基金を拠出する制度が平成五年度に設けられました。

今年度は次の方々から出資がありました。ありがとうございます。

- 足立 勇（昭和二十年卒）
- 渡辺 武臣（昭和二十年卒）

編集後記

総会と懇親会が盛会に行なえる一助になればと実行委員で検討を重ねて編集いたしました。○母校の金岡校長先生、伊達同窓会長より近況と片山市議会議員の郷土だよりの寄稿をいただきました。公務多忙のところご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

○東京格致会関係の皆さま方（団体等）から多数の広告ご協力いただきありがとうございます。この会報は例年この時期（九月）に会員の皆様にお届けしておりますが、内容充実の為、皆様からの投稿を多に歓迎しております。内容については趣味旅行記・会に対する御意見等何でも結構です。どしどしお寄せ下さい。

実行委員

- 合田 良三 森沢 進 陸田 康行
- 八谷 英樹 山城 建治 田辺 実
- 迫田 秀明 藤原 剛



「東京格致会会報」第九号

平成十三年九月一日 発行
 発行人 平田 耕司
 編集人 合田 良三
 事務所 茅ヶ崎市小和田一ノ三ノ七
 明賀 肇
 電話〇四六七（五）〇六七三
 （振込口座）
 ◎年会費 郵便振替 〇〇一五〇一七二二九五〇
 東京格致会